

データ分析⑤ 総資本売上総利益率

■ 総資本売上総利益率のデータ分析

総資本売上総利益率は、売上総利益÷総資本[平均]で算出し、前期と当期の平均総資本において本業の利益である売上総利益[売上高－売上原価]をどのくらい計上できているかを見ます。指標が高いほど良い数値ということになります。なお、総資本の2期平均が3,000万円未満のときは総資本を3,000万円とみなして計算します。

○ 都道府県別の平均値

経審のデータで都道府県別に平均値を比較するとベスト3が、沖縄県 34.3%、佐賀県 33.0%、熊本県 32.4%であり、ワースト3が、新潟県 24.9%、愛媛県 24.7%、徳島県 23.7%となっています。

上位には4位から神奈川、千葉、香川、埼玉、東京と九州地域が比較的高いようです。下位は4位から高知、長野、島根、鳥取、岩手と四国が全体的に低いようです。

○ 経営規模による数値の違い

当指標は、経営規模により指標の値が異なることも特徴の一つといえるでしょう。経営規模の大きい企業は当指標は低い傾向にあります。これは、売上原価に占める外注比率が高いためと考えられます。

対する小規模企業は、指標の値は高い傾向にあります。労務外注の請負が多く、外注比率が低いことによると考えられます。

もう一つ特徴的なことは、経営規模が大変小さい企業の指標は、その上の規模の企業より値が低いことです。総資本平均値3000万円以下の時の条件がここに影響しているものと考えられます。

■ 経営規模による平均値の違い

平均完工高	指標	件数	平均完工高	指標	件数
～ 1000	14.0	72	10 ～ 5	23.1	9364
1000 ～ 100	17.6	655	5 ～ 2	27.6	25308
100 ～ 50	17.2	671	2 ～ 1	32.3	28493
50 ～ 20	18.1	2319	1 ～ 0.5	34.8	31585
20 ～ 10	19.9	4334	0.5 ～	26.8	46402

完工高は億円、指標は%で表示されています。

○ 指標の目標

目標をいくつに設定すれば良いかというデータの中央値が25.3%となっていますので33%に設定すると良いでしょう。しかし、上記のように経営規模で指標数値は大きく変わります。自社の規模にあわせた目標ということでは、上記の表の平均値より5～8%を加える数値を目標として設定するとより現実的な目標となります。

■ 指標のまとめ

- ① 平均値：29.0%
- ② 中央値：25.3%（集計したデータのちょうど真ん中の値）
- ③ 県別平均値 ベスト3：沖縄県 34.3%、佐賀県 33.0%、熊本県 32.4%
県別平均値 ワースト3：新潟県 24.9%、愛媛県 24.7%、徳島県 23.7%
- ④ 上限値：63.6%、下限値：6.5%
- ⑤ 目標値：33.0%（もう1ランク上の目標：40.0%）
- ⑥ 特徴：経営規模による指標の違い。経営規模が小さい企業のほうが数値は高い傾向にある。

※ このデータは、HPに公表されている経審結果の平成22年1月から12月の1年間のデータ約14万9千社の数値から求めたものです。

■ 経審による企業分析研究会 → 平成24年9月14日(金)開催

経審は建設企業を客観的に評価する指標であり、経審の評点を分析することにより企業実態を理解することができます。逆に分析方法を理解することは、経審の評点アップに関しても対応できることになります。当研究会では、経審分析から評点アップまで学ぶことを目的とします。

■ 13:30 開講(13:00受付開始)

- ① 経営事項審査は
建設業界、経営事項審査の現在の状況について解説
- ② 平成23年、平成24年の改正の解説
・平成23年4月改正と平成24年7月改正に関して

③ 経営状況Y評点の解説と対処について

経審評点の中で経営状況Y評点は、総合評点Pのウエイトが20%すぎない。しかし、現実的にはウエイト以上に総合評点Pに大きく係っている。各8指標の評点を理解し、経営状況Y評点の評点アップを図るための知識を身につける。

④ 経審評点の分析

企業の経審分析を行う。経営状況Y評点とニッコンで新たな商品として販売する企業分析支援システム(診断くん)を用いて財務分析方法を学ぶ。

■ 16:30 閉講

■ 開催場所：東京都新宿会場第2ニッコンビル、JR山手線目白駅徒歩5分

■ 参加費用：3150円(消費税込み)、詳細・申込みは下記チェックにてFAXを下さい。 □ 経審による企業分析研究会のパンフ希望